

## コンピュータのイメージの変遷（価値観の多様化）

### コンピュータのイメージ

「コンピュータ」という語の持つイメージは 産業の**パラダイムシフト**と共に変化

コンピュータという1つの革命？

パラダイム：paradigm

思考の枠組み。物の見方、考え方。世界観。

パラダイムシフト = 思考の枠組みが変化すること

・・・確かにこのレベルでの変化はあるかもしれない

話題)

アルビン・トフラー 「**第3の波**」

農耕社会      産業社会      情報社会

↑

現在起きているパラダイムシフト

1970 年代      情報化社会への移行

権威と力の象徴

すべての事を圧倒的な速度と規模で行うことを可能にする

→ 全知全能の創造物

産業革命以来の「物財に対する機械」と同じ発想で使用された

「規模の価値」(**スケールメリット**)

→ コンピュータは「**物**」である

1980 年代      集積回路の進化

「マイコン」「パソコン」の出現

コンピュータは個人の創造活動をサポートする道具

→ 個性実現、多様な価値観の許容を支援するツール

物財社会では見られなかった新しい経済価値の発生

(それまでは採算が合わなかった)

範囲の価値(**スコープメリット**)

→ 「もの」から「**デザイン**」

1990 年代      双方向性「情報の発信・受信の対称性」

コンピュータ + ネットワーク + グループウェア

マスメディアは一方情報伝達機能はきわめて高い・・・

が、

民主主義の真義(平等・民意の反映)のツールには成り得ない

→ 直接民主主義の実現の可能性

双方向性はこれらの障壁を取り除く強力な武器と成り得る

連結の価値(**コネクションメリット**)

「異質な個性、文化が会うことによって、新しい価値を創造する」

→ 「**スタイル**」

「物質社会」から新時代への立脚すべき基盤に？なるか？

⋮  
⋮

つまりは コンピュータの位置付けは...

「競争のための装置」

↓

「個性実現のための支援ツール」

↓

「共創のためのメディア」

と、変化し続けている。個人をより重要視する方向で動いているといえる。

人間の生活におけるパラダイムシフト・・・

「個々人が頭のなかに知識を所有したり、本棚に自分の本をならべる」

↓

「Web 等で調べる」

↓

「世界規模の知的資産のナビゲーションを可能にする」

知的活動をグレードアップする変革

- ・情報量の拡大
- ・「物」からの脱却
- ・メディアの変化

パソコン・携帯電話などを中心とする、ユビキタスコンピューティング（授業後述）への流れ